

仕様

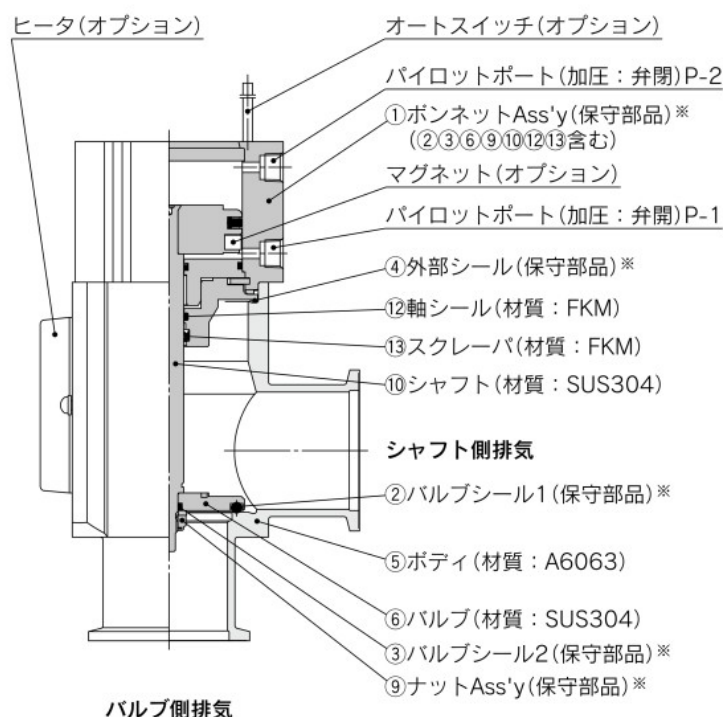
型式	XLG-16-2	XLG-25-2	XLG-40-2	XLG-50-2	XLG-63-2	XLG-80-2	
弁の形式	複動(両作動)・加圧開閉						
使用流体	不活性ガス系の真空						
使用温度 ℃	XLG	5~60(高温タイプの場合: 5~150)					
使用圧力 Pa(abs)	大気圧~ 1×10^{-5}						
コンダクタンス L/s ^{注1)}	5	14	45	80	160	200	
リーク量 Pa·m ³ /s	内部	標準材質(FKM)の場合 1.3×10^{-10} 常温時・ガス透過を除く					
	外部	標準材質(FKM)の場合 1.3×10^{-10} 常温時・ガス透過を除く					
フランジの種類	KF(NW)				KF(NW)・K(DN)		
主な材質 ^{注2)}	本体: アルミ合金 要部: ステンレス、FKM(標準シール材)						
表面処理	外部: 硬質アルマイト 内部: 素地						
パイロット圧 MPa(G)	0.3~0.6			0.4~0.6			
パイロットポート接続口径	XLG	M5		Rc1/8			
質量 kg	XLG	0.26	0.44	1.0	1.5	2.4	4.1

注1) コンダクタンスは同一寸法のエルボの値で代表しています。

注2) 真空部のシール材摺動部には真空グリース[Y-VAC2]を塗布しております。

注3) 製品加熱用ヒータの仕様はP.17共通オプション仕様¹⁾加熱用ヒータをご参照ください。

構造・作動



※保守部品につきましてはP.24をご参照ください。

《作動説明》

パイロットポートP-1からパイロット圧を加えることにより、ピストンと連結したバルブは圧力による作用力を振切り、開きます。(パイロットポートP-2は開放)
逆に、パイロットポートP-2へパイロット圧を加えることにより、バルブは閉じます。(パイロットポートP-1は開放)

《オプション説明》

オートスイッチ: マグネットで作動します。オートスイッチ2ヶで“開閉”、オートスイッチ1ヶで“開”または“閉”の位置を検出します。温度の適用は一般用(5~60℃)のみです。
ヒータ: サーミスタを用い簡易的に加熱します。製品のサイズにより異なりますが、100・120℃にボディを加熱します。サイズと設定温度によりサーミスタの種類と使用数が異なります。高温仕様の場合、ボンネットAss'yは耐熱構成です。